



信濃小中学校だより そよげわか竹

たくさんの思い出をつくれた修学旅行



国会議事堂正面で

6年生

70名は、10月29日(火)〜30日(水)に東京方面へ修学旅行に行ってきました。妙高高原・黒姫・古間の各駅から乗車した子どもたちは、新幹線で一路東京へ。車社会で育つ子どもたちにとって新幹線に乗る機会はありません。滑るように動き出す車両に驚く子どももいました。

東京到着後にまず向かったのは、国会議事堂です。地元選出の務台衆議院議員と挨拶を交わし、いざ議事堂内へ。赤いふかふかの絨毯の感触を味わいながら、本会議場の傍聴席に着いたときには、東京へ来て最初のドキドキ感を味わいました。「この場所、テレビでよく見るよね。」というささやきが漏れる中、場内に漂う重厚な雰囲気は圧倒された子どもが多く見られました。

衆議院第二議員会館で昼食を摂った後は、水上バスに乗って葛西臨海水族園へ向かいました。「水上バス」を「水陸両用車」と思い込んでいた子どもにとっても、船内から眺めるベイブリッジの様子はとても新鮮に映ったようです。水族園では、自分より大きなマグロが悠々と回遊する姿を見たり、生きたエイやサメに触れたりしました。

続いて向かったのは、1日目の最終見学地である東京スカイツリー。幸運なことに、ここまで続いていた小雨が急に上がり視界が広がってくる中、地上350mの展望台へ。眼下に広がる首都の様子を眺めたりガラス張りの床の上に乗って驚いたりしているうちに、いつしか夜景に包まれた子どもたち。夕刻のロマンチックなひとときを経験することができました。

宿舎の日本青年館では、夜遅くまで友達とヒソヒソ声で会話を楽しむ子どももいましたが、初日の疲れをしっかりと取ることができたようです。

2日目の見学は、JFE千葉工場の見学からスタートしました。オレンジ色の溶けた鉛のような鉄が、ものすごい勢いで延ばされ、冷やされ、鉄鋼に変わっていく様子に圧倒されながら、高温・騒音の中でも平然と働く人たちの姿に学ぶことができました。



葛西臨海水族園でエイにタッチ！

周囲に配慮した乗車ができ、お迎えに来て下さった家族とニコニコ顔で対面することができました。

今回の修学旅行では、「メリハリをつけてみんなが楽しめる修学旅行にしよう」という学年目標をたて、グループ行動を数多く取り入れながら、お互いに気働きをしながら過ごすことを大切にしてきました。子どもたちの様子を見ると、車内で年配の方に席を譲ったり、集合時刻を意識してお互いに声を掛け合ったりする姿が見られ、十分に目標を達成することができたと思います。そんな中、上野駅で行った最後のまとめの会で、代表の児童がこんな感想を発表してくれました。「とてもいい修学旅行になったと思うけれど、私たちが9年生になったときに、今年の9年生の『伝説の修学旅行』(9年生を引率した校長先生のことば)に負けなように、これから頑張っていきたいです。」



浅草での買い物

の方が長かったという子どももいたようですが、全員が無事に約束した浅草寺本堂脇に集合できました。そして、最後の見学場所である国立科学博物館に向かいました。普段目にするのでできない貴重なものが数多く展示されており、たくさんの驚きを得ることができました。特に2005年「愛・地球博」の長久手日本館から移設された『シアター360』では、360度全方位に映し出された映像に圧倒されたようです。



東京スカイツリーでパチリ！

こうして数々の見学を終え、帰りの新幹線に乗車した子どもたち。1両貸し切り状態となった車内では、2日間の旅行を振り返りながら大いに盛り上がり、いざ信越線に乗り換えると、マナーよく、



国立科学博物館でポーズ！

の『伝説の修学旅行』(9年生を引率した校長先生のことば)に負けなように、これから頑張っていきたいです。」多くの学び、多くの成長ができた充実した修学旅行となりました。



雷門(改修中)の前で